

令和5年度 日本語指導力養成研修 実施要項

1 目的 大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。

2 対象 小・中・義務教育学校、府立学校の教職員

募集人数 40名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|-------------------------------|---|--|
| 1 | オンデマンド開催 7月11日(火) | 大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について | 大阪府教育センター 指導主事等 |
| | ～ 7月31日(月) 提出締切:8月7日(月) | 日本語指導のためのワークショップ① －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ 〔講義・講演・演習〕 | NPO法人おおさかこども多文化センター 理事 安田 乙世 |
| 2 | 7月24日(月) 13:00～17:00 | 子どもたちの母語や母文化を尊重するために －韓国・朝鮮語を例に挙げて－ 日本語指導のためのワークショップ② －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ 〔講義・講演・演習〕 | 府立学校教職員 NPO法人おおさかこども多文化センター 理事 安田 乙世 |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

4 会場 第1回 所属校等

第2回 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
(5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイト内の各研修の個別ページに掲載する実施マニュアルを参照すること。

6 担当室 人権教育研究室

1 目的

大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 第1期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|---|---|---|--|
| 1 | 大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題 | 帰国・渡日の子どもたちをとりまく現状と課題について理解する。 | 講義を通して、大阪府内の帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について学ぶ。 | |
| | 日本語指導のためのワークショップ① －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ | 日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について理解する。 | 講演・演習を通して、日本語指導の必要な子どもたちの状況を踏まえた支援の在り方や、意欲を持って学べる授業づくりの実際について学ぶ。 | |
| 2 | 子どもたちの母語や母文化を尊重するために －韓国・朝鮮語を例に挙げて－ | 日本語指導の必要な子どもたちへの母語・母文化の保障の重要性について理解する。 | 母語・母文化の喪失による、家族間コミュニケーションの断絶や、民族的アイデンティティの揺らぎ等の解決のために、母語・母文化の保障がいかに大切であるかについて、講義を通して学ぶ。 | 事前課題 「日本語指導のためのワークショップ①」を視聴しておく。 |
| | 日本語指導のためのワークショップ② －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ | 日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について認識を深める。 | 第1回のワークショップの内容をふまえ、講演・演習、意見交流を通して、自校における日本語指導の必要な子どもへの効果的な支援の在り方について考える。 | 準備物 「日本語指導のためのワークショップ①の振り返りメモ」に必要な事項を記入して持参する。 |